

いなべの農業 担い手さん

今回は若手で認定農業者として肉牛肥育に
励んでいる大安町の清水さんを紹介します。



清水 真和さん（大安町宇賀新田）

経営内容を教えてください

現在、肉牛を4棟の牛舎で255頭肥育しています。生後8～9か月の子牛を購入し、雌牛で23か月、去勢牛で20か月の間、ここで育てて出荷しています。



肉牛肥育を行うことになったきっかけは？

平成15年12月に父が倒れたのを機に、31歳で勤めていた会社を辞めて跡を引き継ぎ、母と私たち夫婦でやっています。

牛を飼うのは大変でしょうね？

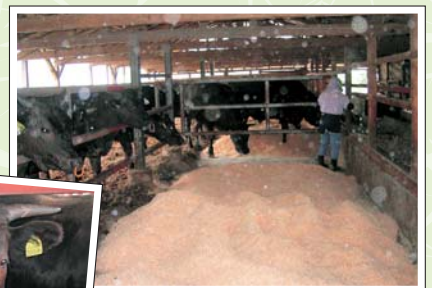
たしかに、生き物を飼っているので休むわけにはいきませんので大変です。朝6時と午後は2時からエサをやりますが、一頭当たり約10kg、一日に2t～2.5tのエサを与えています。また、だいたい月に10頭前後出荷していますが、牛の育ち方によって肉質が違い、同じ飼料を与えても、育った季節や牛の性格によっても質の良し悪しが出てしまうので、良い牛として安定した出荷は難しいです。

心掛けていることや注意していることは？

購入したばかりの子牛の時期と出荷間近の牛は、ストレス等により病気になってしまう確率が高くなるので、清掃をきちんとするなど環境やエサに注意して、病気にならないようにしています。

今後はどのようなことを考えていますか？

現在、JAなど関係機関とともに「みえ黒毛和牛」としてのブランド化に力を入れています。また、規模も拡大していきたいですし、何といたっても肉質の向上と安定のため、エサなどを工夫して、重量のある質の良い牛を育てていきたいです。



汚れた床を常にきれいに



☎ 藤原庁舎 農林商工課 T 46-6306 F 46-6319

編集後記

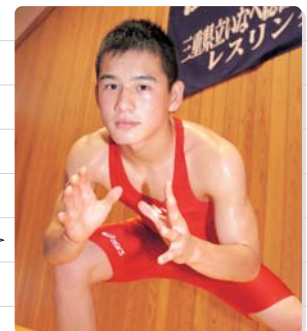
子どもたちのインターネットや携帯電話に関する事件が全国的に多発しています。警察庁の調べで、昨年度中に出会い系サイトに関連した事件は、1,915件（前年比21.1%増）で、被害者の83.1%を18歳未満の子どもたちが占めていることがわかりました。特集「進む情報化社会の落とし穴」では、情報化とともに進む若年化への対応の遅れを示しています。使い方によっては便利で有益なインターネットですが、裏を返せばそれだけ危険性が高いことを私たちは知るべきだと思います。みなさんも一度考えてみてください。

いなべいきいきマイタウン

▶レスリング日本チャンピオン誕生!

いなべ市スポーツ少年団所属の「いなべレスリングクラブ」の高橋侑希君（桑名市在住）が茨城県で開催された全国中学生レスリング大会で優勝しました。8月24～29日、日本代表として中国（北京）で開催されるアジア大会に出場します。高橋君！がんばれ！

日本代表として恥じない、後悔しない試合をしてきたいです。



情報提供 いなべレスリングクラブ



生活情報「まいめる」
QRコード



モバイルサイト
QRコード▶

発行/〒511-0293 いなべ市員弁町笠田新田111番地 T 0594-74-5820 F 0594-74-5821
編集/企画部 広報秘書課 <http://www.city.inabe.mie.jp/>
平成19年8月1日発行 Vol.45

※古紙配合率100%再生紙を使用

